

事業番号	02 09 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	鉄道振興対策事業費		部局	企画振興部交通政策局	課・室	交通政策課
			実施期間	S42 ～	E-mail	kotsu @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

・県内地域鉄道事業者は、新型コロナウイルス感染症の影響から回復しつつあるものの、コロナ禍前の利用者数には戻っておらず、依然厳しい経営環境にあることから、行政として、安全・安定運行の維持のための設備投資等への十分な支援が必要。
 ・北陸新幹線については、大阪までの全線開業によって整備効果が完全に発揮されることとなり、県民の利便性向上に加え、経済・観光等に大きな効果が期待されるが、敦賀～新大阪間は未着工の状態。

2 事業目的

・鉄道の安全・安定運行を維持する等の取組を支援し、県民の移動と地域間交流の手段を確保する。
 ・県民が北陸新幹線の開業効果を享受するため、北陸新幹線の早期全線開業を促進する。

3 事業目的を達成するための取組

- ① 県内鉄道における安全・安定運行の維持と利便性の向上
- ・鉄道路線の安全性向上のため、必要な設備整備に対して支援
 - ・移動円滑化による利便性向上のため、鉄道駅におけるスロープ設置等の事業に対して支援
 - ・各路線の沿線自治体等で構成する活性化組織に参画し、利用促進や要望を実施
- ② 北陸新幹線の建設促進
- ・沿線都府県で構成する「北陸新幹線建設促進同盟会」により、北陸新幹線の敦賀以西における早期着工、早期開業を国等に対して要望
 - ・早期全線開業の啓発のため、「北陸新幹線建設促進同盟会」により、建設促進に関する調査研究及び広報等を実施
- ③ 脱線事故を踏まえたしなの鉄道緊急安全対策に係る支援
- ・【新】令和5年6月に発生したしなの鉄道の脱線事故を受け、再発防止のための緊急安全対策として、レール、マクラギ、トンネルなどの軌道・土木設備や、電線、通信線、踏切制御設備などの電気・通信設備に係る修繕に対して支援

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし -:数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込	推移				
①	鉄道利用者数	千人	52,974 (R3実績)	58,218 (R4実績)	↗	59,886	↗	62,648		県民の移動と地域間交流を支える鉄道の活性化を図るため、鉄道の利用者数を指標として設定し、利用状況を踏まえて目標値を設定	
③	鉄道施設の老朽化、設備不良に起因する重大事故の発生	件	0	0	→	0	→	0		鉄道の安全・安定運行を維持するため、重大事故の発生件数を成果指標に設定し、発生させないよう目標値を設定	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
1-4①	公共交通の充実をはじめ移動の利便性・快適性の向上	☆公共交通機関利用者数	千人	2020 (R2)	69,077	2021 (R3)	72,438	2022 (R4)	82,180	2026 (R8)	100,000

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数	
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源			
R7年度	予算案		644,224		644,224	173,558	4.0	
	要求		1,374,757		1,374,757	584,757		
R6年度		64,583	474,243	148,941	687,767	449,806	4.0	
R5年度		91,415	506,450	88,791	686,656	310,082	593,384	3.0
要求からの 主な変更点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域鉄道安全性向上支援事業について、設備整備の一部を令和6年度1月補正へ前倒したため減額 ・地域鉄道交通系ICカード導入支援事業について、令和6年度2月補正で要求することとしたため減額 ・しなの鉄道設備投資資金等借入金損失補償について、事業者による借入額の見直しに伴い、事業費を減額 							

事業名	鉄道振興対策事業費	部局	企画振興部 交通政策局	課・室	交通政策課
-----	------------------	----	----------------	-----	-------

細事業 No.	細事業名		R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
1	鉄道振興対策事業費		504,650 千円	472,443 千円	予算案 642,424 要求 1,372,957 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	地域鉄道安全性向上支援事業補助金	補助金	鉄道路線の安全性向上のため、必要な設備整備に対して支援 補助額：379,432千円（レール重軌条化、変電所更新、車両更新4両分等）		
2	利用者にやさしい駅舎の整備事業補助金	補助金	鉄道駅のバリアフリー化を推進するため、事業者が実施するスロープ設置等の事業に対して支援 補助額：633千円（内方線付き点状ブロック設置）		
3	地域鉄道交通系ICカード導入支援事業	補助金	鉄道の利便性向上・利用促進のため、交通系ICカード導入に対して支援 補助額：0千円 ※令和6年度2月補正で要求することとしたため減額		
4	大糸線利用促進輸送強化期成同盟会負担金	負担金	大糸線利用促進輸送強化期成同盟会の構成員として、要望活動、啓発、広報、利用促進活動を実施 総会・要望活動の実施：各1回		
5	中央東線高速化促進・定時性確保広域期成同盟会負担金	負担金	中央東線の高速化促進・定時性確保、利便性向上、沿線地域の振興を目的に関係団体と連携・協力し事業を実施 総会・要望活動の実施：各1回		
6	大糸線活性化協議会負担金	負担金	大糸線活性化協議会の構成員として、啓発、広報、利用促進活動を実施 総会開催：1回 活性化事業の実施：定期券購入費助成10名以上、企画列車3回運行等		
7	大糸線利用促進事業	負担金	令和6年3月の北陸新幹線の敦賀延伸を契機としてJR大糸線の本格的な利用促進に取り組むため、沿線市町村とともにバス増便や旅行商品の造成等を実施 旅行商品の造成：年2回 鉄道・バス便数：18便（2023年度）→24便（2025年度）		
8	しなの鉄道緊急安全対策支援事業補助金	補助金	【新】脱線事故を踏まえ、しなの鉄道が緊急安全対策として実施する修繕に対して支援 補助額：242,666千円（軌道・土木・電気・信号通信設備等）		

細事業 No.	細事業名		R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
2	北陸新幹線建設促進費		1,800 千円	1,800 千円	予算案 1,800 要求 1,800 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	北陸新幹線建設促進同盟会負担金	負担金	同盟会が建設促進等に係る国等への要請活動、建設促進に関する調査研究及び広報等を実施 総会開催、要望活動を3回実施		

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
3	しなの鉄道設備投資資金等借入金損失補償	債務負担行為 (元金 1,000,000千 円+利息) 千円	債務負担行為 (元金 970,000千円 +利息) 千円	債務負担行為 (元金 1,500,000千 円+利息) 債務負担行為 (元金 1,900,000千 円+利息) 千円 予算案 要求
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	しなの鉄道設備投資資金等借入金 損失補償	直接	しなの鉄道の設備投資資金等借入金の金利負担を軽減するため、県が金融機関 に対し損失補償を実施 元金1,500,000千円及びその利息に対して、損失補償を実施	